編集・発行…鳥取県議会　県議会広報紙…年4回発行　令和６(2024)年２月１日発行

とっとり県議会だより

令和５年11月定例会
(2023)

No.047
11月 Nov.
議会

主な記事 Contents

代表質問……2p
一般質問……3~7p
関西広域連合議会……7p
令和４年度決算認定……8p
常任委員会活動……9p
議決結果……10~11p
国際交流・海外調査…12p
お知らせ……12p

完成予想図　提供：槇総合計画事務所イメージ
制作：ヴィックVicc Ltd.

館内見学ツアーの様子

11月定例会の概要　(11月29日～ 12月20日)

開会日の11月29日に、平井知事から総額31億1千万円余の令和５年度鳥取県一般会計補正予算（議案第５号）、総額348億４千万円余の令和５年度鳥取県一般会計補正予算（第６号）など35議案が提案され、12月８日に、平井知事から人事議案１件が追加提案されました。

代表質問は鳥取県議会自由民主党が行い、一般質問には24名の議員が登壇。県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開しました。

議決の状況

【知事提出議案】

◎予 算 議 案　≪可決９件≫
◎条 例 議 案　≪可決８件≫
◎決算認定等　≪認定４件≫
◎人 事 議 案　≪同意１件≫
◎その他議案　≪可決17件≫

【議員提出議案】

◎条　例　≪可決１件≫
◎決　議　≪可決２件≫
◎意見書　≪可決３件≫

【陳情】

≪趣旨採択１件、不採択３件≫

【選挙】

県選挙管理委員会委員・補充員

表紙の写真

鳥取県立美術館
開館500日前イベント

令和７年３月に開館予定の鳥取県立美術館で、開館500日前プレイベントが開催されました。

開館前最後となる建設現場見学ツアーや高所作業車乗車体験のほか、展示室でのアートワークショップやカウントダウンボードづくり等が実施され、総勢3,500人の来場で賑わいを見せました。

★議員別の賛否の状況は、10、11ページでご覧いただけます。

代表質問

鳥取県議会自由民主党

浜田 一哉 議員
選挙区 境港市

韓国江原道との交流展開

問 米子―ソウル便が復活し、先端産業のクラスター造成を国家戦略として進める江原道と、ビジネスパートナーとしての位置づけを目指すべきではないか。

答 海路の可能性についても協議するなど、産業のシーズを膨らませていく。

物流の2024年問題

問 人手不足が深刻な中、速達性が重視される農水産物への影響が懸念される。本県の対応について問う。

答 官民連携プラットフォームをつくり、関係者と率直な意見交換をし、トラック・鉄道、海上輸送といったモーダルシフト（※1）についても議論している。

保育人材の確保

問 私立、公立の区別なく、人材バンクのような仕組みも対策の一つであり、ハローワークとの連携強化が必要ではないか。

答 保育所、保育士の支援センターが県社協にあり、マッチングしているが、県立ハローワークともつなぎ合わせ、求人や求職、職場環境としての人間関係づくり等を含め、総合的にアプローチをかけていく。

教育現場の負担軽減

問 教職員の負担軽減の観点から、保護者からの苦情が長期化しそうな場合、第三者的立場の教育委員会が解決に導くことが有効ではないか。

答 （教育長）県は、弁護士に委託して、法律相談窓口を設置し対応しているので、活用してほしい。年々相談件数も増加しており、来年度に向けて事業拡大を検討している。

文化芸術活動の促進

問 県内公立高校だけで、延べ200人程度、文化祭にバンド出演している学生がいる。ポピュラーソングコンテスト等、光の当たるステージを提供できないか。

答 若い世代が関心を持っているところに焦点を当てた発表の場、とりアートみたいなことがあってもいいと思う。目標にできるような発表の機会を真剣に考える。

美術館の活用

問 県立美術館は、いろいろな可能性がある。平日のすいた時間を利用して、ルーブル美術館でみられるような、館内で模写するなどの場を提供できないか。

答 （教育長）県立美術館が、より様々な学びの場となること、感動をもたらす場となることを考えれば、一定のルールは必要だが、可能となるよう前向きに進めたい。

持続可能な水産業

問 資源評価対象魚が増えると、計量や数量集計等の手間や事務作業の負担増になる。現場の声を把握し、漁業者に寄り添い、国に対して提言すべきは敢然と主張する姿勢で臨むべきではないか。

答 システム開発や簡素化、場合によっては制限を適用しないことも含めて、柔軟に考えてもらう必要がある。要請活動はしてきているが、これをフォローしていく。また、漁獲規制について、対岸諸国に対しても日本海沿岸地域の県と連携して、要請活動をしていく。

富裕層の誘客

問 鳥取・島根エリアがモデル観光地に共同で選ばれ、国から人材の紹介や支援を受けることとなったが、どのように誘客を図るのか。

答 専門家とともにマスタープラン作りが進行中。ハイエンド層（※2）を狙うために食や座禅体験、大山でのトレッキングなど従来の旅行商品とは違うところも含めて、もう一つの日本を楽しんでもらう。

高規格道路整備の促進

問 米子～境港間の高規格化は、国土強靭化・防災のための命の道として不可欠で、地元の熱意が高まる中、知事の意気込みを問う。

答 初めて島根県知事と共に要請活動をする中で、担当大臣からは、「熱意は十分わかった。凍結区間の解除や事業化について否定的に考えてはいない」とのこと。本県は、検討予算も計上しており課題は出てくると思うが、熟度を増してきたので理解を得ながら成案につなげていく。

（※1）モーダルシフト…トラック等による貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換すること
（※2）ハイエンド層…富裕層ともいわれ、預貯金を含む純金融資産保有額が1億円以上の世帯

一般質問

11月定例会では、 24人の議員が一般質問を行いました。
本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。
なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。
※掲載に時間がかかる場合があります。

鳥取県議会 検索

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部局長の答弁も含む）。教育長は知事の部局ではないため、別に表記した。

会派正式名称

【自由民主党】鳥取県議会自由民主党
【会 派 民 主】会派民主
【公　明　党】公明党鳥取県議会議員団

島谷　龍司 議員

選挙区　鳥取市
会　派　自由民主党

大阪・関西万博と子どもの居場所について

問 関西万博に期待が持てるような県内への取組を伺う。

答 本県も関西の一円であり、県内の食材、観光地等の魅力を世界に売り込むチャンスであり、市町村、商工、観光関係者に理解していただき機運醸成を図っていく。

問 学校でも家庭でもなく、子どもたちが安心できる居場所づくりが孤独孤立を防ぎ、一人一人を温かく包み込む社会につながるが知事の所見を。

答 モデル的な仕組みを展開できるようにシン・子育て王国の中で応援のスキームをさらに拡充していきたい。

前原　茂 議員

選挙区　米子市
会　派　公明党

不妊治療対策について

問 企業では、不妊や不妊治療についての認識や知識がなく、職場での支援制度の導入や利用が進んでいない。治療と仕事の両立のため、職場の理解と従業員への環境づくりを推進すべきと思うが、知事の所見を伺う。

答 不妊治療への社会や企業の理解促進を望む声は多い。県では、プレマタニティ（※）休暇制度の導入を企業に働きかけ、優遇措置を取れるようにしている。今後も企業に協力していただき、ファミリーサポート休暇などの導入の普及を図って参りたい。

福田　俊史 議員

選挙区　八頭郡
会　派　自由民主党

智頭農林等中山間地域高校の魅力化について

問 第３回日本伐木チャンピオンシップin鳥取の高校生部門で智頭農林高校が初代王座に輝いた。中山間地域を支える人材づくりの視点から知事部局が県立高校魅力化に積極的に関与すべきでは。

答 学校が地域の中で魅力化を実現していくことで生徒も集まり、地域も恩恵を受ける。こういう好循環を生み出していかなければならない。一義的には教育委員会だが、我々知事部局も令和新時代創造運動など様々なツールを活用しながら、地元の動きを応援してまいりたい。

（※）プレマタニティ…妊娠前のこと。ここでは、不妊治療などで妊娠に向かう期間のこと。

前住　孝行 議員

選挙区　八頭郡
会　派　無所属

①デジタル人材の確保 ②睡眠推進県へ

問 ①デジタルＤＸを推進するデジタル人材を広域的かつ組織的に配置してはと考えるが、知事の所見は②健康な睡眠についての正しい理解と、生活習慣の改善を県民に再度呼びかけては。

答 ①人材の派遣についても国のスキームを使いながら、県独自のことも含めて、デジタル行財政改革をやる仕掛けを町村の実態に応じて作っていっても良いと思っている。②国が睡眠改善の研究を進めているので、横にらみしながら、県民運動を再構成し、展開を深めて対応していきたい。

銀杏　泰利 議員

選挙区　鳥取市
会　派　公明党

今後のイベント開催 空の駅、災害対策

問 ①やきとりＪＡＰＡＮフェスティバルについて②デフリンピックに対して③鳥取空港コンセッションでは、にぎわい創出の評価と雇用の維持、地元企業の参入を④県道小河内加茂線の強化整備を⑤加瀬木から上流へ迂回路設置を。

答 ①食パラダイスとして応援し盛り上げていく②手話の聖地として手話理解促進、障がい者理解を深める③にぎわい拠点はメリット、収益源になる。雇用と地元企業参入は当然だ④新年度以降本格的に着工する⑤護岸工事と併せ道路機能確保を図る。

東田　義博 議員

選挙区　鳥取市
会　派　自由民主党

とっとり弥生の王国の取組について

問 ①青谷上寺地遺跡と妻木晩田遺跡の学校教育への活用と支援について②指定管理業務の拡大は何を目的としているか③とっとり弥生の王国の今後の展開について。

答 ①出前授業の講師派遣や教材づくりの支援を行う。（教育長）出前授業や現地学習に今後も取り組む②体験イベント、旅行会社へのアプローチ、SNSでの情報発信など強化拡充をすること③さらなる高みを目指し、調査研究及び発表、歴史的な遺産を渡り歩くツーリズム、情報発信などの拡充を行う。

山川　智帆 議員

選挙区　米子市
会　派　無所属

公民連携（公共施設の有効活用について）

問 西部総合事務所の新庁舎では、県と米子市の建築部門と税部門を一緒に整備。メリットが有るなら中部や東部でも検討するのか。また職安や年金などの行政手続きが一括化されれば利便性が向上し、不正受給も防げるとの声もある。こうした複合化を検討できないか？

答 機会があれば検討したいが国、県、市別の主体であり米子については庁舎を一緒に建てようから始まり進展し、全国で見ても非常に希有な例である。今後も真摯にそうした機会を検討して参りたい。

前田　伸一 議員

選挙区　鳥取市
会　派　公明党

共生社会、竹林活用、鳥取砂丘の保全・活用

問 ①ハンセン病療養所県民交流事業等の施策の充実を要望②経営が難しい中山間地域の訪問介護で、通所事業所が訪問介護を行える複合型サービスの実施を提案③竹材を使った有機農業の有効性を検証するための調査研究を提案④鳥取砂丘海水浴場の再開に向けての協力とサンドリサイクルによる海岸線管理を要望。

答 ①当事者が減少しても未来に語り継げるよう事業を展開したい②複合型サービスを視野に検討する③実態調査を行う④海岸線管理に全力を挙げ、海水浴場設営を応援する。

河上　定弘 議員

選挙区　米子市
会　派　自由民主党

①栄養教諭の増員 ②eスポーツの活用

問 ①学校で食の専門家の栄養教諭の増員が必要では？

答 ①課題を整理し新年度以降の環境づくりを進めたい。（教育長）知事部局ともよく相談し配置拡充を検討する。

問 ②高齢者の認知症・フレイル対策、子どもの不登校対策や地域・世代間交流としてeスポーツを活用しては？

答 ②来年のねんりんピック鳥取大会を控え、県としてもモデル的な年とし地域の取組み支援の枠組みを考えたい。（教育長）不登校対策のきっかけづくりで市町村教育委員会とよく話をして進めたい。

興治　英夫 議員

選挙区　倉吉市
会　派　会派民主

起立性調節障害の理解 市町の不登校施設支援

問 ①起立性調節障害（※）による不登校を理解し支援するため、対応ガイドラインを作成・配布するべき②不登校の多様な受け皿を充実するため、市町村の教育支援センターに国補助制度を活用して、県でも財政支援を行うべき。

答 ①（教育長）医師会とも相談し、対応策や受診病院一覧を載せた家庭・教職員向けのガイドラインを作成する②他の居場所も組み合わせたトータルな財政支援スキームを整理する時期になった。国補助制度を点検し、現状調査し、今後の対応考える。

市谷　知子 議員

選挙区　鳥取市
会　派　無所属

ゼロゼロ融資、国保、補聴器、脱炭素、米軍機

問 ①コロナゼロゼロ融資。業者を潰さない対策は？②国保料統一を市町村に押し付けないこと。国保料上昇せぬよう基金で対応を③加齢性難聴の補聴器助成を④2030年CO_2・60%削減に向け、長野県のようにロードマップ作成を⑤オスプレイが墜落。超低空飛行訓練しないよう求めて。

答 ①新制度も話し合う②統一に違和感もつ町村も。全市町村の了解が必要。基金は活用する③国に要望④工夫したい⑤住民に危険を及ぼし、不安を与え、住民の平穏な生活を乱す訓練しないよう求める。

浜田　妙子 議員

選挙区　米子市
会　派　会派民主

①子どもへの贈り物 ②気になる課題

問 ①子どもが平和で幸せに暮すための贈り物（江府町奥大山自然塾、安来市加納美術館の平和学習、知恵と工夫の結晶淀江傘伝承館）をどう生かすか②㋑建設予定の巨大風力発電は地域住民に説明不足㋺重症心身障がい者グループホーム誕生の今こそ当事者の声に耳を㋩フッ化物洗口の背景にある教師の多忙感に傾聴を。

答 ①いずれも子どもの体験的学びや心を揺さぶる大切な施設として継承したい②お互いに協議し理解されるよう今後も努める（教育長）謙虚に耳を傾け、誠実に取り組む。

鳥羽　喜一 議員

選挙区　倉吉市
会　派　自由民主党

関金廃線跡の整備と中央育英高校の定員削減

問 ①関金廃線跡は日本一美しい廃線跡として脚光を浴びつつあるが、廃線跡部分は県有地である。倉吉市と協同しトイレや駐車場の整備を検討出来ないか②鳥取中央育英高はこの数年で、現行の基本方針策定時には想定外の志望者数の急激な減少があるが、現行の方針通りではなく、臨機応変に規定を見直し、定員削減の猶予を検討しては。

答 ①更なる観光地化を推進する話し合いを倉吉市としていく②（教育長）予測がつかないことが起きており、定員削減は慎重に検討していく。

入江　誠 議員

選挙区　東伯郡
会　派　自由民主党

①UDタクシーの今後 ②ライドシェアの検討

問 ①小型タクシーの料金で運営するUDタクシーがなくなったり、台数が減少すれば、金銭的な負担が増えたり、車椅子を使ったタクシー利用について不便さが生じるのではないか、知事に所見を伺う②一般ドライバーが自家用車を使って、有料で顧客を運送するライドシェアは、手段が限られた地方では、注目されているが、鳥取版ライドシェアの考え方を知事に伺う。

答 ①質問の趣旨に沿って、対策を立てていきたい②地方型のライドシェアを政府に対して働きかけていく。

鹿島　功 議員

選挙区　西伯郡
会　派　自由民主党

中山間地域の人口減少問題と農業課題

問 地域の農業と農地の保全を次の担い手にバトンタッチできない構造的な問題が生じている。県の持続可能な農業のために、認識と対策を問う。

答 親元就農と50歳以上の方にも応援給付金を出して新規就農を促してきたが、年明けの予算編成で支援策を練り直す。ブロッコリーの大規模施設が作られ、生産を底上げした。近年は集落営農など農業法人化も進んでいる。集落みんなで助け合いながら農業をやる構造をつくり上げていき、新しい営農の仕方、地域の農業の在り方を追求する。

（※）起立性調節障害…思春期前後の小児に多くみられ、自律神経の働きが悪くなり、起立時に身体や脳への血流が低下する病気

中島　規夫 議員

選挙区　鳥取市
会　派　自由民主党

①県東部の道路交通 ②交通空白地の共助運送

問 ①県東部道路交通の現状、進捗、今後の見通しは②交通空白地の共助運送への支援等で、住民、事業者、行政の創生を目指すが、共助運送とタクシーのすみ分けへの懸念は。

答 ①山陰近畿道は都市計画決定手続を進行中。志戸坂峠トンネルは7,000万円の追加配分で設計完了へ②規制緩和等を含むタクシー業界等との協調策の検討や地域実情に応じた対策を国に要請。一方で、今議会7,000万円の共助交通的な鳥取のコミュニティ・ドライブ・シェアを提案した。

安田　由毅 議員

選挙区　境港市
会　派　自由民主党

年収の壁突破・不妊治療・小児慢性特定疾病

問 ①女性活躍の観点からも年収の壁突破策の県内での理解促進をすべき②１年前の質問時から不妊治療施策はどう進展したか③長期入院時の付き添い家族の負担軽減策を。

答 ①専門家や商工機関と協力し勉強会を設ける②願いに寄り添う妊娠出産ネットワーク会議を設立し議論しており、今後は回数制限等含めて更なる負担軽減を考える。また保険適用になり患者負担額が減っていることも広報する③現場と相談し患者家族の負担軽減策をシン・子育て王国として今後整備する。

坂野経三郎 議員

選挙区　鳥取市
会　派　会派民主

カメムシ・高温被害 救急医療体制について

問 カメムシ被害による農家の収入減少の影響が深刻だ。如何にして対応すべきか問う。

答 南部町長やＪＡと、経営の問題を中心に話をした。過去の災害の例などを考えて、今後協議をしていく。

問 高温に強い品種である星空舞の作付面積が12％なのは課題だ。割合を拡充すべき。

答 この機に作付面積を3,000haまで生産拡大をする。

問 東部地域に、西部同様にドクターカーを導入しては。

答 いろんな考え方を一つにまとめていきながら現場で話をしていただくことが大切。

語堂　正範 議員

選挙区　東伯郡
会　派　自由民主党

県立高校の学級再編 中山間の高校の在り方

問 基本方針策定時、学級減が連続して行われることを想定していたのか。再編候補高校の既存自治体からの要望書をどのようにするのか。

答 （教育長）策定時に予想していないことが起きている。連続しての学級減は想定していなかった。町の支援を見ながら慎重に検討する。

問 中山間地域の高校魅力化は大事。中山間地域の高校の在り方をどのようにするのか。

答 （教育長）中山間地域の学校の在り方は地域性、基幹産業との繋がりを十分重視しながら、丁寧に検討を進める。

内田　隆嗣 議員

選挙区　米子市
会　派　自由民主党

高校の再編と県外生の受け入れ

問 令和８年から17年度の高校の再編に関わる基本方針案が示された。この間、生徒数は３千人台半ばとなり、現状よりも千人も減り、40人クラスに換算すると、現在、22校97クラスが75クラス以下になる。クラス減だけでなく、高校自体の統廃合も含めた議論を迫られる。県外生徒の受け入れについて、鳥取西高や米子東高等、普通科高の門戸を開いてはと考えるが、所見を伺う。

答 （教育長）県外生受入拡大、県内の子どもへの影響を勘案し検討を進めていきたい。

川部　洋 議員

選挙区　倉吉市
会　派　自由民主党

地方自治と緊急時の国の指示権拡大について

問 地方制度調査会で緊急時の国の指示権を拡充することが検討されている。国民の生命や財産を守るため緊急事態に国に権限を集中することは必要だが、国と自治体は対等だという原則から外れないよう慎重な制度設計が望まれる。これまでの検討内容、自治法改正の必要性を尋ねる。

答 緊急時の国の指示権は否定しないが、自治の理念からは棒を飲むようなことであり悩ましい議論だったが、特例措置となるよう、地方の意見を聞く機会等の条件が飲まれれば受け入れて良いと思う。

伊藤　保 議員

選挙区　東伯郡
会　派　会派民主

可及的速やかに高校の洋式トイレ整備

問 県中部のある高校の入学式の後、新入生が一番に驚いたのは、和式トイレがあることだそうだ。一日の３分の１を過ごす学校において、トイレは自分を取り戻すためのクールダウンする場所でもあり、教育上とても重要な施設である。早急にすべきでは。

答（教育長）指摘の通り、整備率20％台が６校、30％台が６校残っている。生活様式が変化する中、生徒にとって過ごしやすい生活環境、学びやすい学校環境となるよう、教室棟というご指摘を踏まえ、速やかに取り組みたい。

西村　弥子 議員

選挙区　米子市
会　派　会派民主

①ＡＹＡ世代がん予防 ②国際空港化・観光誘客

問 ①ＡＹＡ世代(※)の乳がん予防は実体験からも重要。気軽に健康相談できる「しきゅうＣａｆé」に県で支援を。ＳＮＳを利用し若者の健康相談窓口設置を②国内外客へ米子空港駐車場の誘導表示を分かりやすく。島根県とセットで誘客促進・連携強化しては。

答 ①重要だ。県の委託事業化やイベント連携し健康づくりを推進。ＬＩＮＥなど相談窓口を拡充したい②世界標準に合わせ駐車場表示板やナンバリングも改善する。山陰両県で交通・観光情報アプリを作り魅力発信・連携強化する。

福浜　隆宏 議員

選挙区　鳥取市
会　派　無所属

①観光施設の指定管理 ②不登校への対応

問 ①県立観光施設の指定管理制度は委託料が決まっており民間ならではの自由度がない。経済青年団体など若者の発想を取り入れ、アイデアを形にする政策的予算導入を②不登校の児童生徒の保護者に必要な情報が届いていないとの複数の声があり、改善を。

答 ①若者の意見を聴く場を作っていただき、反映させる意味でテコ入れ支援策を検討するなど柔軟な展開を工夫する②（教育長）情報提供したつもりでは、子どもたちを守り育てることにならず、保護者の困り感を胸に刻み届ける。

関西広域連合議会で鳥取県選出議員が活動

関西広域連合では、ドクターヘリの活用等による広域救急医療体制の充実、相次ぐ自然災害でのカウンターパート方式による迅速な被災地支援など、関西全体の連携による防災力強化に向けて着実に取り組んでいます。このほか、令和３年11月に発出した「関西脱炭素社会実現宣言」に基づく温暖化対策など関西一丸となった取組も行っています。また、今後、「2025年大阪・関西万博」、「ワールドマスターズゲームズ2027関西」という世界中から関心が集まる絶好の機会を捉え、官民の力を結集した広域的かつ戦略的な取組を行うこととしています。

関西広域連合議会には本県議会から、坂野議員（会派民主）、内田議員（鳥取県議会自由民主党）が選出され、「関西における鳥取県」の視点で、活発な議会活動を行っています。

関西広域連合議会における主な質問事項

坂野 経三郎 議員

○大阪・関西万博について
○ドクターヘリについて
（令和５年８月定例会一般質問）

内田 博長 議員

○自治体立病院のあり方について
○総合診療医の養成について
（令和５年11月臨時会一般質問）

（※）ＡＹＡ世代…Adolescent and Young Adult（思春期・若年成人）の頭文字をとったもので、15歳から30歳代までの世代を指す

令和４年度決算を認定

決算審査特別委員会は、令和５年12月19日、「令和４年度鳥取県天神川流域下水道事業会計決算の認定について」、「令和４年度鳥取県営企業決算の認定について」、「令和４年度鳥取県営病院事業決算の認定について」及び「令和４年度決算の認定について」の４議案を認定すべきものと決定し、当該議案は、翌20日の本会議において認定されました。

県立中央病院

公文書館

鳥取県議会では、適正な予算の執行と編成のために、決算審査特別委員会を通年設置としており、「総務教育」、「福祉生活」、「農林水産商工」、「地域県土警察」及び「公営企業」の５分科会を設け、効率的かつ詳細な審査を行っているほか、新年度予算に審査結果を反映させるため、11月定例会で決算認定を議決しています。

青谷かみじち史跡公園
展示ガイダンス施設

アートスペースからふる

決算関係の４議案は、９月定例会から実質的に審査を開始しており、分科会ごとに書類審査を行った上で、より調査すべき事項について集中審査、現地調査などを重ね、最後は全体会において委員全員で議論を行いました。

その結果、速やかに改善又は検討すべき事項として、文書指摘４件、口頭指摘４件を行ったうえで、４議案を認定が妥当と決定しました。

今後、同委員会は２月定例会において、指摘事項を新年度予算等にどう反映したか知事ら執行部から説明を求め、決算と予算の審査を一体化することで、本県の行財政運営の効率化が図られるよう努めていきます。

文書指摘の概要

（１）高校魅力化の推進について

生徒の減少が顕著な中山間地域の県立高校を維持・存続させていくためには、高校魅力化の推進は喫緊の課題です。県立高校の特色ある学科や取組等が広く認知され、県内外の生徒から進学先として選ばれるよう、コーディネーターを配置するなど、知事部局、地元自治体と連携・工夫して積極的かつ効果的に魅力を発信すべきであります。

併せて、県外生徒受入れに際し必要不可欠な住環境の確保及び生活支援体制について、地域に合った整備を早急に進めていくべきであります。

（２）鳥取県住宅供給公社の今後のあり方について

鳥取県住宅供給公社は、経営状況の悪化から、県から資金貸付を受けながら経営見直しを図られています。

県からの多額の貸付金が残る中、分譲宅地の販売などについては、計画を上回る実績を上げており、目標より早い完売が見込まれます。

今後大きな収入の柱もなくなることから、新規事業の検討をはじめ、公社として果たすべき役割を再検討し、経営計画の抜本的な見直しを行うべきであります。

（３）農地の集積について

農業経営体数の減少や農業従事者の高齢化により担い手の減少が懸念される中、本県農業の維持・発展を図るために、管理困難となる農地を可及的速やかに担い手に集積する必要があります。

鳥取県農業生産１千億円達成プランの達成に向け、農地の荒廃を防止すべく、農地中間管理機構の農地集積を着実に推進する体制を整備するとともに、機構以外による集積、農地の受け手や地域計画策定に対する支援などの対策を強化し、農地集積を適正に進めていくべきであります。

（４）「ふるさと来LOVE(くらぶ)とっとり」若者県内就職強化事業について

県は、本県出身学生のUターン就職促進に向け、県外大学との就職支援協定の締結を拡大してきましたが、Uターン実績は上がっておらず、学生に十分訴求できていない状況であります。

人口減少・少子化が顕著に進む本県で若い世代の県内定着は喫緊の課題であり、今後、就職コーディネーターの増配を含め、大学ごとにきめ細かなアプローチ手法を検討するなど、県外大学進学者のUターン促進に向けて、より戦略的に深化を図るべきであります。

常任委員会活動

鳥取県議会には４つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続審査や現地調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会

◎11月定例会審査結果（議案）

指定管理施設の光熱費高騰、学校給食食材の価格高騰などの物価高を乗り越えるための緊急対策を行う「令和５年度鳥取県一般会計補正予算（第５号）」のほか、県人事委員会勧告に基づく「職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」などを含む９議案について慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

◎11月定例会審査結果（陳情）

薬物乱用防止に関する啓発や教育を実施するよう教育委員会等に求める陳情１件について慎重に審査を行った結果、「不採択」と決定した。

福祉生活病院常任委員会

◎11月定例会審査結果（議案）

物価高騰に伴う生活困窮者支援や介護職員等の処遇改善等を行う一般会計補正予算など10議案について審議し、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。

◎11月定例会審査結果（陳情）

精神障がい者の障がい種別の違いによる差別の解消を求める陳情について、公共交通機関における交通運賃割引制度等において、身体障がい者等への支援内容に比べて差があることは、障害者差別解消法に規定される不当な差別的扱いとまではいえない。しかし、各事業者の理解が深まるよう努めるなど、県として必要な取組を進めることは重要であることから「趣旨採択」と決定した。

農林水産商工常任委員会

◎11月定例会審査結果（議案）

電気や燃料等のエネルギー価格や、原材料・資材価格などの高騰対策として、資金繰りや経営力向上、賃上げ、施設・設備の省エネ対策等の支援策などを盛り込んだ先議議案「令和５年度鳥取県一般会計補正予算（第５号）」や、小鹿第一発電所の取水を行う中津ダム湖内への台風第７号による堆積土砂の浚渫費、農家・産地の収益力強化の支援策やコメの高温障害対策費、鳥取県産業未来共創条例に基づく補助金の増額等を含むその他の補正予算、農林水産部が所管する各種施設の指定管理者の指定など計14議案を審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

地域県土警察常任委員会

◎11月定例会審査結果（議案）

国の総合経済対策を踏まえた交通事業者に対する物価高騰対策の支援のほか、住民や事業者との共創による鳥取型ライド・シェア、国際航空便の再開に伴う訪日観光客の受入環境整備、防災・減災機能の強化に向けた道路・河川整備を含む一般会計補正予算など８議案を審査し、全て原案どおり可決すべきものと決定した。

◎出前県議会（11/22：鳥取市内）

投票率の著しい低下など若者の政治離れが深刻化している状況を踏まえ、政治参加や投票率向上策について県内大学生と意見交換し、投票行動につなげるための環境整備としてインターネット投票の試行など、意見をとりまとめた。

自由民主党											会派民主							公明党			無所属						賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果
広谷直樹	島谷龍司	斉木正一	福田俊史	内田博長	内田隆嗣	浜田一哉	鹿島功	安田由毅	野坂道明	浜崎晋一	村上泰二朗	西村弥子	坂野経三郎	浜田妙子	尾崎薫	興治英夫	伊藤保	前田伸一	前原茂	銀杏泰利	前住孝行	松田正	山川智帆	福浜隆宏	市谷知子	藤縄喜和				
議案に対する賛否																														
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	32	1	33	認定
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	32	1	33	認定
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	31	2	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	32	1	33	認定
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	31	2	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	32	1	33	可決
委員長報告に対する賛否　※請願・陳情への賛否ではありません																														
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	30	3	33	趣旨採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	25	8	33	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	25	8	33	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×	○	×	○	23	10	33	不採択

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。
　　…請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

議案等番号	件　　名	議決結果
㉒	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立農村総合研修所）について	可決
㉔	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立鳥取二十世紀梨記念館）について	可決
㉕	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立二十一世紀の森）について	可決
㉖	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立とっとり出合いの森）について	可決
㉗	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立とっとり賀露かにっこ館）について	可決
㉘	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県営境港水産物地方卸売市場及び境漁港）について	可決
㉙	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立みなとさかい交流館）について	可決
㉜	当せん金付証票の発売について	可決
㉞	鳥取県基金条例の一部を改正する条例	可決
㉟	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決
㊱	鳥取県教育委員会委員の任命について	同意
❷	イスラエル・パレスチナ情勢における早期の平和的解決を望む決議	可決
❹	人口減少社会における食料・農業・農村基本法の改正を踏まえた国産農畜水産物の安定生産と食料安全保障の強化を求める意見書	可決
❻	松田正議員に対する辞職勧告決議	可決

令和５年11月定例会付議案等議決結果

賛否が分かれた議案及び否決された議案

請願・陳情の詳しい結果はこちらからご覧いただけます ⇒

議案等番号	件名		自由民主党 語堂正範	東田義博	入江誠	河上定弘	鳥羽喜一	川部洋	中島規夫
9月定例会第33号	令和４年度鳥取県営企業決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○
9月定例会第34号	令和４年度鳥取県営病院事業決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○
②	令和５年度鳥取県一般会計補正予算（第６号）		○	○	○	○	○	○	○
⑩	鳥取県情報公開条例及び鳥取県個人情報保護条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○
⑬	鳥取県立産業人材育成センター条例及び鳥取県個人情報保護条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○
⑱	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立米子産業体育館）について		○	○	○	○	○	○	○
⑲	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立東郷湖羽合臨海公園（藤津地区、浅津地区及び南谷地区））について		○	○	○	○	○	○	○
⑳	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立東郷湖羽合臨海公園（引地地区及び長和田地区））について		○	○	○	○	○	○	○
㉑	公の施設の指定管理者の指定（とっとりバイオフロンティア）について		○	○	○	○	○	○	○
㉓	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立とっとり花回廊）について		○	○	○	○	○	○	○
㉚	関西広域連合規約の変更に関する協議について		○	○	○	○	○	○	○
㉛	公立大学法人公立鳥取環境大学定款等の一部変更について		○	○	○	○	○	○	○
㉝	令和４年度決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○
❶	鳥取県議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○
❸	投票率低下を踏まえた政治参加を促す選挙制度改革と参議院選挙における合区の解消を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○
❺	地方分権の推進を基調とした国と地方の関係構築を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○
議案等番号	件名	委員長報告							
陳情５年-27	精神障がい者の障がい種別の違いによる差別の解消を求める陳情	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情５年-28	危険ドラッグの対策について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情５年-29	危険ドラッグの対策に係る意見書の提出等について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情５年-30	子どものために保育士配置基準の引上げ、労働条件改善による保育士の増員及びさらなる賃金引上げを求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案
賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長
※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

全会一致で議決された議案

議案等番号	件名	議決結果
9月定例会第32号	令和４年度鳥取県天神川流域下水道事業会計決算の認定について	認定
①	令和５年度鳥取県一般会計補正予算（第５号）	可決
③	令和５年度鳥取県用品調達等集中管理事業特別会計補正予算（第１号）	可決
④	令和５年度鳥取県給与集中管理特別会計補正予算（第１号）	可決
⑤	令和５年度鳥取県港湾整備事業特別会計補正予算（第１号）	可決
⑥	令和５年度鳥取県天神川流域下水道事業会計補正予算（第２号）	可決
⑦	令和５年度鳥取県営電気事業会計補正予算（第２号）	可決
⑧	令和５年度鳥取県営工業用水道事業会計補正予算（第２号）	可決
⑨	令和５年度鳥取県営病院事業会計補正予算（第３号）	可決
⑪	鳥取県医療法施行条例の一部を改正する条例	可決
⑫	鳥取県盛土等に係る斜面の安全確保に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑭	鳥取県営境港水産物地方卸売市場の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑮	鳥取県営病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑯	財産の取得（青谷上寺地遺跡保存用地）についての議決の一部変更について	可決
⑰	財産の取得（美術作品）について	可決

国際交流・海外調査

台湾訪問団

10月25日から28日まで内田博長議員を団長に６名の議員が本県との観光・産業交流や県産品の輸出促進の可能性等の調査のため、台湾を訪問した。

台湾日本関係協会、日本台湾交流協会台北事務所、タイガーエア台湾では、訪日・訪台観光客の動向や、チャーター便の定期便化に向けた課題等、台中市政府ではアウトドアコンテンツを通じた両県市の観光交流促進等、台湾政府経済部と連携している工業技術研究院や台日産業連携推進オフィスでは、ハイテク産業のスタートアップ支援体制や日本の自治体等との経済交流状況などを調査した。台中市の高級スーパーや県産木材製品のショールームでは県産品の販路拡大等について意見交換を行った。今回の調査結果を台湾との交流促進に対する今後の政策提言に活かしたい。

ベトナム訪問団

10月24日から27日まで広谷直樹議員を団長に５名の議員がベトナムを訪問し、外国人材の活用や県産品の輸出促進、観光誘客の可能性等を調査した。

本県にも技能実習生を送り出している送出機関や日本との人材交流に取り組む大学をはじめ、県産食品を取り扱う物流商社、日本貿易振興機構及び日本政府観光局のハノイ事務所などを訪問し、日本への人材派遣状況や日本産食品の販売状況、訪日観光客の動向等を聞き取り、関係者と意見交換を行った。

ベトナムは人口増加や経済成長が見込まれる親日国で、今後も本県の産業・観光振興を図る上で重要なパートナーである。本県とベトナムとの交流の深化を願い、県議会としても関係者と連携して取り組んでいきたい。

information

県議会からのお知らせ

２月定例会の日程案

期　日	日　　程
2月21日(水)	本　会　議(開会・提案理由説明)
22日(木)	常任委員会
26日(月)	
28日(水)	本　会　議(代表質問)
3月　1日(金)	
5日(火)	本　会　議(先議議案に対する質疑) 常任委員会
6日(水)	本　会　議(先議議案採決、一般質問・質疑)
7日(木)	本　会　議(一般質問・質疑)
11日(月)	
12日(火)	
14日(木)	
15日(金)	
19日(火)	常任委員会　特別委員会
21日(木)	特別委員会
22日(金)	本　会　議(採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。
※ 午前10時開始の予定です。

パソコン・スマートフォンでご覧いただけます

本会議、常任委員会、特別委員会などの生中継と録画中継のインターネット放送は、パソコン・スマートフォンからもご覧いただけます。

また、本会議はケーブルテレビでもご覧いただけます。

鳥取県議会ホームページは
こちらから→

みなさまへ

平素より「とっとり県議会だより」に関心を持って頂き感謝申し上げます。年も明け２月となり、まだまだお忙しい日々が続いていることと思います。今後も鳥取県議会の動向に興味を持って頂けるような広報紙を目指し頑張って参ります。　（広報委員Ｇ）

発行日／令和６(2024)年２月１日
編集・発行／鳥取県議会　〒680-8570 鳥取市東町1丁目220
☎0857-26-7460　FAX0857-26-7461　e-mail : gikaisoumu@pref.tottori.lg.jp